

2021年度ICT経営塾

## 講演会のご案内 (in木曾)

**日時** 2021年12月2日(木)

受付 12:30～、講演 13:10～15:30

第一部 ICTセミナー 13:10～

第二部 特別講演 14:00～

**会場** 木曾町文化交流センター

2F多目的ホール

(木曾郡木曾町福島5129番地)

**講演** 会場+ライブ配信

第一部 ICTセミナー (仮題)「ICTで地域とともに」  
NTT東日本長野支店 副支店長 棚橋裕弥氏

第二部 特別講演 門田 隆将氏

特別講演 演題

「日本は中国の脅威とどう対峙すべきか」

共催:(一社)木曾法人会  
(公財)日本電信電話ユーザ協会木曾地区協会  
後援:長野県商工会連合会木曾支部

一般社団法人木曾法人会および公益財団法人日本電信電話ユーザ協会木曾地区協会では、このたび第63回ブルーリボン作品賞「Fukushima50」の原作者で作家・ジャーナリストの門田 隆将 氏をお招きして講演会を開催いたします。新型ウィルス感染症対策のため会場の定員に限りがありますが、ライブ配信も行います。皆様のお申込みをお待ちしております。

定員 | 会場:先着50名、ライブ配信:先着50ヶ所  
お申込み締切 | 11月19日(金)まで  
お申込み方法 | 裏面の申込書でお申込み下さい。  
参加費 | ユーザ協会・木曾法人会・商工会 会員:無料  
一般:3,300円(税込)/事業所  
その他 | ライブ配信を含め講演の録画・録音、会場内での写真撮影は固くお断りいたします。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



作家・ジャーナリスト 門田 隆将氏  
かどた りゅうしょう

【プロフィール】

1983年、中央大学法学部政治学科卒。  
作家・ジャーナリスト。高知県生まれ。  
大学卒業後、新潮社に入社。週刊新潮時代は、特集班デスクとして18年間にわたって政治、経済、歴史、司法、事件、スポーツなど、さまざまな分野で800本近い特集記事を執筆した。独立後、「毅然と生きた日本人像」をテーマに、幅広い分野で著作を発表。『甲子園への遺言 ～伝説の打撃コーチ高島導宏の生涯～』(講談社文庫)、『なぜ君は絶望と闘えたのか～本村洋の3300日～』(新潮文庫)、『死の淵を見た男～吉田昌郎と福島第一原発～』(角川文庫)、『太平洋戦争 最後の証言』シリーズ(小学館)、『オウム死刑囚 魂の遍歴』(PHP研究所)、『疫病2020』(産経新聞出版)等多数。『この命、義に捧ぐ～台湾を救った陸軍中将根本博の奇跡～』(角川文庫)で第19回山本七平賞受賞。最新刊は新たな形の全体主義に警鐘を鳴らした『新・階級闘争論』(WAC) また、読売テレビ「そこまで言って委員会NP」にも出演中。

尚、新型コロナウイルスの感染再拡大等状況によっては、運営方法が変更になる場合があります。

◇お問合せ先◇ (公財)日本電信電話ユーザ協会 木曾地区協会事務局 中埜(なかの)

TEL 0263-28-2811 送信先 FAX 0263-24-2997

URL : <https://www.pi.jtua.or.jp/nagano/> E-mail : [users@jtua.or.jp](mailto:users@jtua.or.jp)